

読書バリアフリー

1 点字図書、大活字本、布の絵本 ほか



本が読みにくいという人がいる？

「プリント・ディスアビリティ」とは？ 4

目が不自由(視覚障害)／アーレンシンドローム／色覚多様性／発達障害、
ディスレクシア／体が不自由(身体障害)／外国にルーツがある人／お年
より、子ども

読書バリアフリー法とは？

「本の飢餓」の解消をめざして／マラケシュ条約と読書バリアフリー法／読
書バリアフリー法が求めていること

いろいろなバリアフリー図書①

点字図書・点字絵本 10

点字ってなに？／絵本を点字であらわす／いろいろな点字図書／点字図書
のできるまで／(制作者に聞いてみよう) 佐久間 朋さん

いろいろなバリアフリー図書②

大活字本 16

大活字本ってなに？／大活字本の歴史／(制作者に聞いてみよう) 小玉 瞭平さん／
つくり方でちがう大活字本／(制作者に聞いてみよう) 大林 哲也さん

いろいろなバリアフリー図書③

布の絵本 22

布の絵本ってなに？／布の絵本の歴史／(制作者に聞いてみよう) 松村 治美さん／
布の絵本はどうやってつくるの？

インタビュー

目の不自由な人と読書 28

幼いころから点字で読書 今は音声での読書に夢中 西田 梓さん／
文字が苦手な人も情報の入手に困らないために 國宗 陽介さん

さくいん 31



※本書の内容は原稿執筆時点で入手した情報にもとづいて編集されたもので、掲載されている書籍・製品・サー
ビスなどは、予告なく内容変更・終了する場合があります。

読書バリアフリー法 とは？

「バリアフリー」のバリアは「障壁」、フリーは言葉のあとについてそれが無い状態をあらわす言葉。つまり、バリアフリーは、「障壁がない」という意味です。
プリント・ディスアビリティのある人が本を読むことに対する障壁を取りのぞくための法律が、「読書バリアフリー法」です。

「本の飢餓」の解消をめざして

人が生きていくうえで、本は必要不可欠なものです。しかし、プリント・ディスアビリティをかかえた人にとっては、本を読みたくても読める本が少なく、入手もしにくい現状があります。そのような、障害者が利用可能な本が手に入りにくい状況のことを、「本の

飢餓」といいます。

プリント・ディスアビリティの人にとっての「本の飢餓」の解消に向けて期待されているのが、2019年に制定された「読書バリアフリー法」です。

マラケシュ条約と読書バリアフリー法

読書バリアフリー法が制定され

るきっかけとなったのは、2013年に国連の専門機関である世界知的所有権機関（WIPO）で採択された「マラケシュ条約」です。この条約は、視覚障害者などが著作物（本など）を利用しやすくする環境の整備をうながすものです。

日本でも、マラケシュ条約に加盟するため、著作権法などの改正を進め、2018年に条約を批准、2019年の読書バリアフリー法の制定につながりました。

◆ 読書バリアフリー法制定までの流れ

2006年	国連総会で「障害者の権利に関する条約」が採択
2013年	WIPOで「マラケシュ条約」が採択 日本の国会で「障害者差別解消法」が成立（施行は2016年）
2014年	「障害者の権利に関する条約」が日本で批准
2015年	日本図書館協会が「図書館利用における障害者差別の解消に関する宣言」を発表
2016年	「障害者差別解消法」が施行（行政機関に、障害者に対する「合理的配慮」の提供を義務化）
2018年	「著作権法の一部を改正する法律」が成立 「マラケシュ条約」が日本で批准
2019年	「読書バリアフリー法」制定・施行

読書バリアフリー法が求めていること

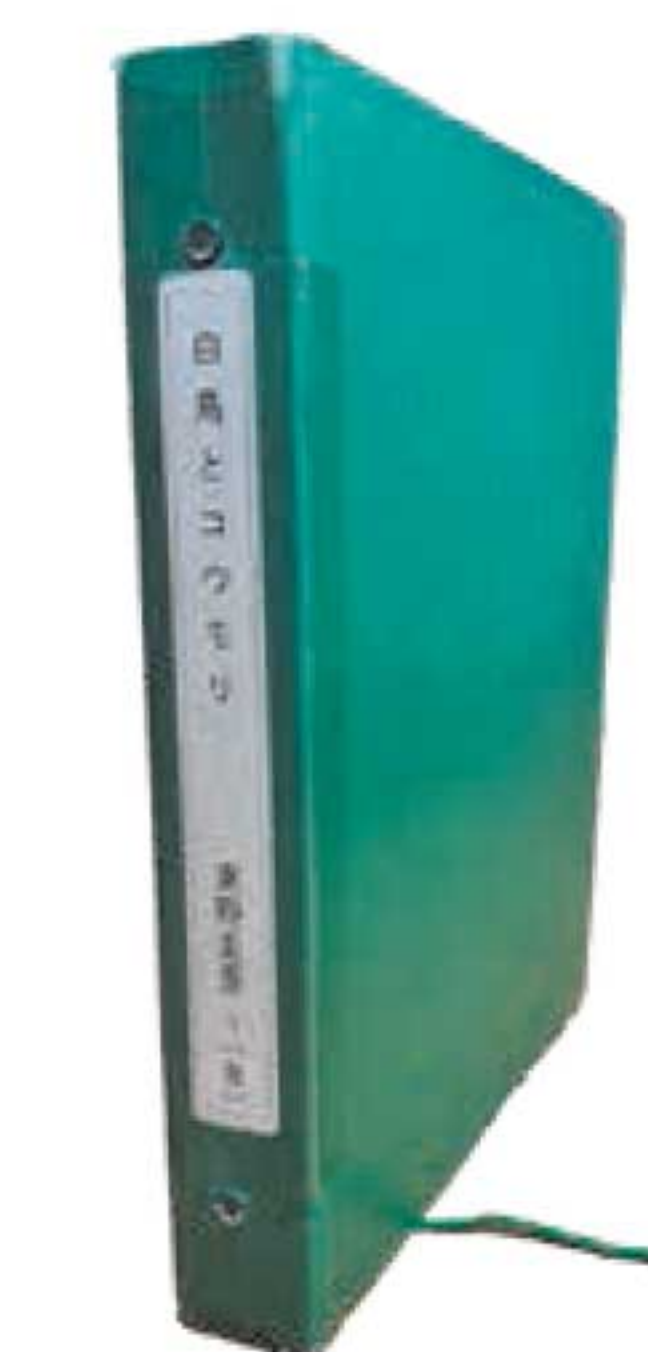
読書バリアフリー法は18条からなる法律で、「視覚障害者等の読書環境の整備を総合的かつ計画的に推進し、もって障害の有無にかかわらず全ての国民が等しく読書を通じて文字・活字文化の恵沢を享受することができる社会の実現に寄与すること」を目的とし、国や自治体をはじめ、出版社、図書館などが連携して、障害のある人でも読みやすい本や電子書籍などを増やし、それを入手（借りる・買う）しやすい環境づくりを進めることを規定しています。

具体的には、図書館にバリアフリー図書を置いて利用しやすくする、出版社がバリアフリー図書を制作する団体へデータの提供などを行う、本の電子化を進める、などが求められています。



いろいろなバリアフリー図書①

点字図書・点字絵本



『白鳥とコウモリ』

ひがしの けいご ちよ
東野圭吾 著
げんぼん げんとうしゃ
(原本は幻冬舎)

にほんてんじとしょうかんぞう
(日本点字図書館蔵)

点字のでこぼこが見える



紙の裏表に
点字を打っているの、
裏の点字の部分が
へこんでいるんだ

2021年に発行された東野圭吾さん作のミステリー小説。単行本の原本をもとに点字化されています。

点字ってなに？

点字とは、文字を点の組み合わせで表現する表音文字です。紙などに点の部分が浮き出るように印刷し、その浮き出た点を指でさわって読み取ります。点字は1文字をたて3点、横2点の6点で表現し(下の図)、横書きで、左から右へ読みます。

現在使われている点字は、1825年にフランス・パリの盲学校の生徒だったルイ・ブラユが考案したものです。1890年に、教師の石川倉次の案が日本で採用されました。

点字 (一部)

ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ
サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ		
ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ				
ン	長音符 (「ー」)	促音符 (小さい「ツ」)							

1	2	3	4	5	6				
7	8	9	0	数符 (数字の前につけて、 ここから数字であることを知らせる)					
a	b	c	d	e	f	g	h	i	j
k	l	m	n	o	p	q	r	s	t
u	v	w	x	y	z	外字符 (アルファベットの前につけて、 ここからアルファベットであることを知らせる)			

なんて読むかわかるかな？



答え：オハヨー (音を伸ばすときの「ウ」は長音符を使います)